



4月13日(土)～6月30日(日)

世界一大きな授業 2019

SDG4の達成をめざす「世界同時キャンペーン」に授業をやって参加しよう!

My Education, My Rights 教育はわたしの権利

世界100か国以上の子どもたちと一緒に教育について考える授業をやりよう!

現在、世界で小学校に通えない子どもは6,400万人、読み書きができない大人は7億5,000万人も存在します。こうした事実の背景には、2015年9月に国連総会は「持続可能な開発目標」(SDGs)を採択し、2030年までにすべての子どもが質の高い就学前教育、初等教育、中等教育を受け、大人の識字率も大幅に改善することを新たな目標として掲げました。「世界一大きな授業」とは、そんな世界の現状に目を向け、教育の大切さを、同じ時期に考えようという地球規模のイベントです。今年も世界100か国以上で開催し、参加者の声を各国政府に届け、教育政策に反映するよう働きかけます。昨年、日本では583校・グループ、5万1,188人が参加しました。今年には6万人の参加を目標に開催します!

6/26
(水)
申込締切



参加は申込み→授業をやる→報告するの3ステップ

小中高校や大学、サークル、NPO/NGO、市民グループや青少年団体など、毎年、全国のようなグループが「授業」をおこなっています。学校の先生でなくても「授業をやってみたい!」という人であれば、誰でも「先生」役になることができます。参加費は無料です。

授業のためのワークショップ教材は?

参加申込みをすると、事務局より教材のダウンロードURLをE-mailでご案内します。2019年4月13日(土)～6月30日(日)のどこかで教材を使って授業を実施してください。教材には、参加型学習(アクティブラーニング)形式ですすめる9つの授業案が収録されています。対象者や時間に合わせて自由に組み合わせてください。

9つの授業案(対象:小学生～大人まで)

1. クイズ(世界の教育の現状)
2. 識字(シミュレーション)
3. 教育と資金(シミュレーション)
4. 行動する子どもたちのストーリー&動画(意見交換)
5. ちがいのちがいのSDG4バージョン(カード)
6. 日本の教育問題とSDGs(意見交換)
7. 本当に必要な「教育援助」とは?(ロールプレイ)
8. 日本の教育ODAの推移を読み解こう(データ読解)
9. 首相・外務大臣に手紙を書こう(意見交換+文章表現)



ワークシートやスライド資料があるので、すぐに授業ができます

申込方法は裏面へ→

授業だけじゃない! 政策提言に直結したキャンペーン!

キャンペーンに参加する世界中のNGOや団体と共に国際社会に働きかけます。首相・外務大臣に手紙を書くと、JNNEが日本政府に届けます。



敦賀高校3年5組(福井県)



小牧市立村中小学校(愛知県)



中高生による「国会議員のための世界一大きな授業」